



小郡市立大原中学校だより

大為小積



令和3年 霜月 15日

第19号

校長 矢野 晴一

学校教育目標:「自ら考え、自ら判断し、自ら行動しようとする子どもの育成」※「考動」

## 「私たちの手で『おおはら文化』を繋ぐ！」

### 令和4年度生徒会役員選挙運動開始



11月8日(月)の朝から、生徒昇降口で、来年度の生徒会役員選挙に向けて立候補している子どもたちの選挙運動がはじまりました。

さまざまな制限を余儀なくされる中、みんなで考えながら創意工夫を重ねてきた**3年生の姿**を仰ぎながら、令和4年度の大原中生徒会を発展させていきたいとの志を胸に、自ら手を挙げてくれた1・2年生の子どもたちに心から敬意を表します。

これから候補者は、「**大原中学校をこんな学校にしたい**」という自らの抱負やビジョンを掲げ、各学級をまわったり、立会演説の場に臨んだりしていきます。

期間中、私はすてきな場面にたくさん出会いました。

「**候補者とともに立って応援している仲間の姿**」、「**候補者の演説に静かに耳を傾ける各学級の子どもの姿**」、「**自分のことをあとまわしにして選挙活動を支えてくれている選挙管理委員の姿**」・・・その姿は、すべて「**つながり**」を大事にする大原中の文化だと感じています。

投票は11月17日(水)に行われます。大原中学校の全員が学校生活や生徒会活動の充実について真剣に考え、一票にこめてくれることを心から願っています。

## 「やっと手渡すことができました！」 臨時の表彰式 開催

現在、制限は緩和されつつありますが、感染予防のため、まだ体育館に全校生徒が集うことができません。

夏からずっと子どもたちが奮闘し、さまざまな大会で入賞したあとの表彰を行うことができないまま現在にいたっていました。

そこで、どうにかして賞状を子どもたちに渡すことができないかと方法を考え、昼休みに体育館で臨時の表彰式を行うことを決めました。

11月10日(水)、昼休み、たくさんの子どもたちが体育館に集まってきました。

**中体連の各競技の大会や吹奏楽のコンクール等、30枚をこえる数の賞状**をすべて渡すことができました。

一つ一つ力をこめて読んだため、終わったときは、汗びっしょりになりました。

**子どもたちがその時その瞬間のことを思い出しながら、互いのことを拍手でたたえ合い、笑顔で語り合っているのをみながら、とても幸せな気持ちになりました。**



過ぎし日の 汗と涙を たたえ合う  
拍手の音に 笑顔あふれる  
晴一

## 「自分の道の扉を開けるために！」 3年生進路説明会 開催

11月6日（金）、保護者のみなさまを迎えて3年生の「進路説明会」を行いました。

子どもたちは、いよいよ自分自身の進路先を選択・決定していくこととなります。これまで、「体験入学」や「高等学校説明会」等を通して、「自分の進むべき道」について考えてきた子どもたちは、みんな真剣なまなざしで担当の田中先生の説明に耳を傾けていました。

この後、12月9日（木）からはじまる三者面談において実際に願書を書いていくこととなります。三者面談は、相談の場ではなく、**一人一人の「決意表明」の場**だと考えています。そのためには、自分の進路についての意志をはっきりと述べるようになっておく必要があると思います。

保護者のみなさまには、子どもたちが「**自分の道の扉を開く**」ことができるように、ご家庭で子どもの考えをじっくりと聴いていただき、激励や助言等の支援をお願いいたします。



## 「署名活動へのご協力、ありがとうございました！」



毎年校区内で行っております教育要求のための署名活動ですが、本年度も昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症感染拡大予防のため、各ご家庭を訪問しての活動は行われませんでした。個人署名ではなく**団体署名**という形をとるということで、学校をはじめ、区長会やさまざまな関係機関にご協力をいただきました。

私たちは、みなさまからいただいた温かい署名をもって、「**すべての子どもたちに豊かな教育を！**」という願いを実現するために、小郡市や福岡県への要請を行ってまいります。

署名活動にご協力いただいたすべてのみなさま、本当にありがとうございました。

この二年間、個人署名活動が行われないという状況を踏まえ、これまでの取組を伝えたり学んだりしながら積み重ねていく必要があると感じております。今後ともよろしくをお願いいたします。

## 「子どもたちからの発信・・・！」 おごおりっ子からのメッセージ

11月7日（日）、小郡市文化会館大ホールにて、「**おごおりっ子からのメッセージ**」が開催されました。例年とは異なり制限された状況下でしたが、小郡市内各中学校代表の子どもたちが、自らの考えを堂々と述べることができました。

本校からは、**3年生の さんが「食べる」という演題**で、食の観点で**日常のあたりまえを見つめ直し、「命をいただいて」「命に支えられて」**私たちは生きているのだ、感謝の気持ちをもとと力強く伝えてくれました。

自らの問題意識を論理的に表現し、それをメッセージとして堂々と伝えることができた さんに大きな拍手を送りたいと思います。



## 小さいけれど大きな感動 その19 「ただひたむきに・・・！」

昼休み、教室をめぐっているとさまざまな光景に出会います。友だちとの時間を大事にして談笑している姿、放課後の部活動のためにグラウンドを整備している姿、みんなのために係の仕事をやってくれている姿、さまざまな姿がありますが、11月になると、黙々と勉強に励んでいる3年生の姿と出会うようになります。

近づいてくる受験期に向けて、寸暇を惜しむように**ただひたむきに小さな努力を積み重ねる姿**をみると、毎日夜遅くまで勉強している姿が脳裏に浮かんで来て、思わず心の中で「**体調に気をつけて！**」とつぶやいていました。

